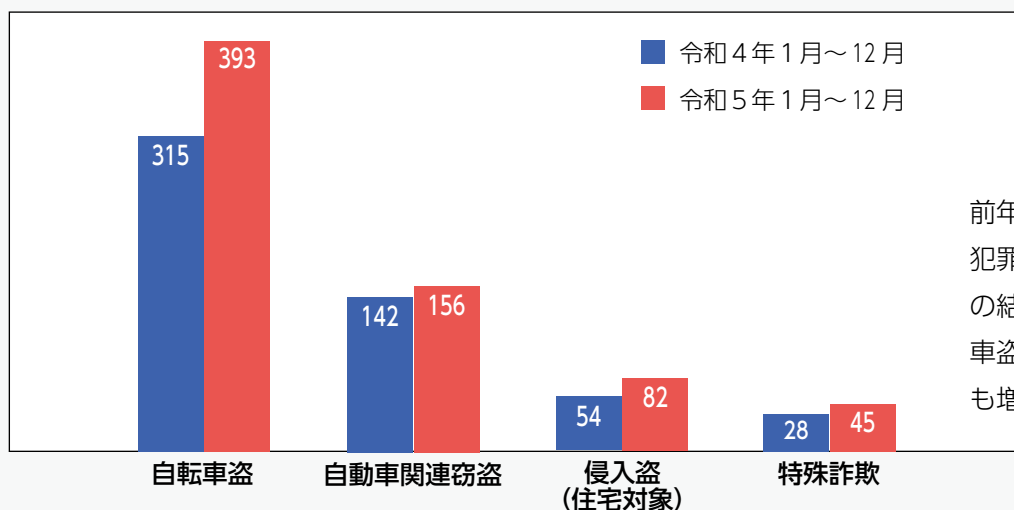


身近に潜む 犯罪

犯罪は、いつ・どのような形で発生するかわかりません。被害を未然に防ぐためには、「自分は大丈夫」と思い込まず、犯罪の「手口」を知ることが大切です。特集1では、市内で多発している犯罪の事例やその対策について紹介します。

市内の身近な犯罪発生件数



前年と比べ、全体の犯罪発生件数は増加の結果に。特に自転車盗の件数は、78件も増加しています。

※自動車関連窃盗…自動車盗、部品ねらい、車上ねらい

侵入盗(住宅対象)…一般民家を狙った空き巣、忍込み、居空き

被害内容と対策

【 自転車盗、自動車関連窃盗 】

移動手段として利用している人も多い自転車の窃盗は、近年市内で最も多い犯罪です。その原因のほとんどは無施錠で、買い物中のわずかな時間でも、盗まれてしまう可能性があります。また、自動車盗では、プリウス、ランドクルーザー(プラドを含む)、アルファードなど、日本国内のみならず、海外でも人気の車種が被害に遭いやすい傾向にあります。



✓ 被害に遭わないための対策をチェック

- ☐ わずかな時間でも自転車や自動車から離れる時は必ず鍵をかける
- ☐ 自転車の鍵は、盗難防止効果が高いU字ロックやチェーンロックなどを使用する
- ☐ 自転車は、購入した販売店で防犯登録をする
- ☐ 防犯カメラが設置してある場所など監視の行き届いた駐車場・駐輪場に停める
- ☐ ハンドルロックやタイヤロックなど自動車盗難防止装置を装着する

【侵入盗】

市内では、留守宅に侵入する「空き巣」の被害が侵入盗の多くを占めています。泥棒は、「敷地に侵入しても外から見えにくい高い塀や木がある家」「郵便物などが放置され長期間留守にしていると判断される家」「鍵をかけていない家」などを狙う傾向があるといわれています。



✓ 被害に遭わないための対策をチェック

- ☐ わずかな時間の外出、在宅中も必ず鍵をかける
- ☐ 窓には、補助錠やガラス破り防止シートを使用する
- ☐ 家の周りの植え込みや庭木を整え、見通しの良い環境にする
- ☐ 夜間も家の周りの明るさを保つために、自動点灯するセンサーライトを設置する
- ☐ 普段から近隣住民と挨拶を交わし、住民同士の連携を図る

【特殊詐欺】

特殊詐欺は、電話をかけるなどして対面することなく相手を信用させ、お金やキャッシュカードをだまし取る犯罪です。愛知県警察の調べ（「令和5年特殊詐欺被害者の実態調査」）によると、被害に遭った人の約9割が特殊詐欺を「自分には関係ない」と思っていました。「自分は大丈夫」と思っている、相手の巧みな話術にだまされてしまうことがあります。特殊詐欺の中でも特に警戒すべき3つの手口を紹介します。

還付金詐欺

こんな手口

公的機関の職員などを装い、「医療費の払い戻しがある」といった内容の電話からはじまり、ATMに誘導し操作させ、還付ではなくお金を振り込ませる手口です。

市内で実際に起こった事件

年金事務所の職員を名乗る者から「年金の払い戻しがあります。払い戻しの期限は本日までです。」と電話があった。その後、銀行員を名乗る男から電話があり、自宅近くのATMに行くよう指示された。男の指示に従いATMを操作して、お金を振り込んでしまった。

〇〇市役所のものですが、税金の払い戻しがあるのでATMで今日中に手続きを…



！ 公的機関が還付の手続きでATMの操作を求めることはありません。

オレオレ詐欺

こんな手口

息子や孫を装い、「会社のお金を株に使い込んでしまった」「友だちの保証人になった」など仕事や事件などのトラブル解決を口実にお金を要求する手口です。

市内で実際に起こった事件

甥を名乗る男から「会社のかばんをなくしてしまった。かばんの中に会社名義のキャッシュカードが入っていて、会社のお金を引き出せなくなってしまった。お金を貸してほしい。」と電話があった。その後、自宅の近くにきた甥の上司の息子を名乗る男に現金を渡してしまった。

オレだけど、会社の小切手が入ったかばんを電車で置き忘れた。すぐに現金が必要なんだ…



お金を用意する前に、以前から自分の知っている本人の連絡先に掛け直し確認しましょう。

キャッシュカード詐欺盗

こんな手口

警察官や銀行員などを装い、「キャッシュカードが不正に利用されている」などと電話を掛けてきます。その後、「キャッシュカードを新しくしましょう」などと言い、キャッシュカードを準備させ、自宅を訪れた犯人がトランプなどとしり替えてキャッシュカードを盗み取る手口です。

市内で実際に起こった事件

警察官を名乗る者から「あなたのキャッシュカードが不正に利用されているため、止めています。」と電話があった。その後、自宅を訪れた男に「キャッシュカードを封筒に入れ、封印する必要がある。」と言われたため、キャッシュカードを手渡した。封印するための印鑑を取りに行っている間に、封筒がすり替えられ、キャッシュカードが盗まれてしまった。

警察ですが、あなたのキャッシュカードが不正に利用されています。



キャッシュカードを他人に渡してはいけません。

✓ 被害に遭わないための対策をチェック



留守番電話にして、相手が確認できてから電話に出るようにする



迷惑電話防止機能の付いた電話機などを使用する



怪しいと感じたら、家族や警察にすぐ相談する

安全・安心なまちを目指して

犯罪を未然に防ぐには、市民一人ひとりが防犯の意識を高めることが大切です。市では、防犯意識の向上を目的とした取組を行っています。

1

特殊詐欺被害防止機器の 購入費用を補助します



詳細はこちら



通話内容の録音や迷惑電話の着信拒否などができる機能が備わった固定電話機か固定電話機に取り付ける機器を購入した場合、その費用を一部補助します。

■対象

市内に住民登録があり市税を滞納していない世帯主^{ほか}

■補助額

1世帯1台限り、機器購入経費の2分の1（上限7,000円）

■申請方法

交通安全防犯課の窓口か郵送で申請書類を提出

2

自宅の防犯診断を実施 しています



詳細はこちら



地域安全指導員（警察官OB）が診断を希望される人のお宅を訪問し、防犯対策についてのアドバイスをを行います。

■対象

市内の住宅（一戸建て、アパート^{など}）

■診断内容

原則、家屋の外から、門、玄関、勝手口、窓など、防犯上の注意箇所を診断（所要時間20分程度）

■申請方法

希望日の2週間前までに交通安全防犯課に申込書を提出

3

防犯講座を開催します



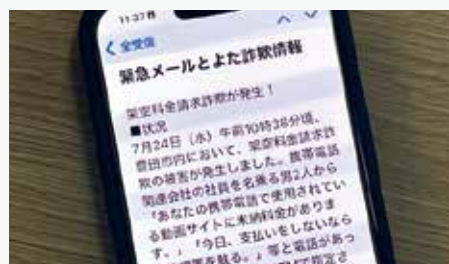
自主防犯活動団体などを対象に防犯意識の高揚と地域防犯力の向上を目的として、全3回の講座を開催します。自主防犯活動団体に所属していない人でも参加いただけます。詳細は、今号21ページをご確認ください。

4

緊急メールとよたにて防犯 情報を発信しています



詳細はこちら



市内の詐欺情報や事件情報など、犯罪の発生状況を登録いただいたメールアドレス宛に配信しています。是非、ご登録ください。

問合せ先

犯罪に関すること

豊田警察署（☎35・0110）、足助警察署（☎62・0110）

この記事に関すること

交通安全防犯課（☎34・6633、FAX32・3794、✉signal@city.toyota.aichi.jp）

ほっとする

子どもに必要な、 それぞれの居場所。



夏休みが明けて、

子どもたちは、9月からまた、学校での生活が始まります。

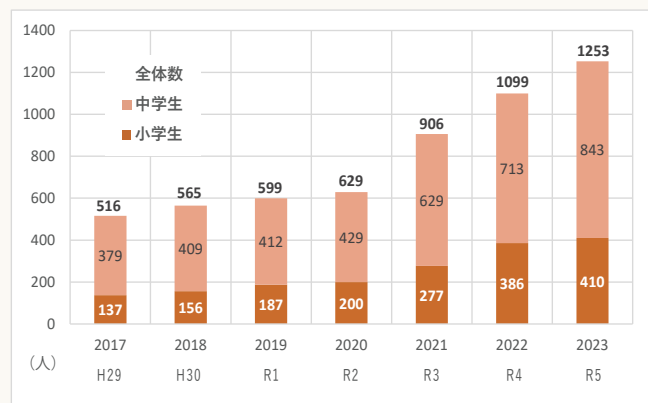
生活習慣が変わることで、学校への行きづらさや、教室への入りづらさを感じる子も少なくありません。

子どもたちが学校や教室以外でも、自分らしく過ごせるためには、どのような支援が望まれるのか。

特集2では、子どもが「ここにいていいんだ」と、ほっとできる居場所「はあとラウンジ」などについて紹介します。

不登校の現状

増加傾向。生活様式の変化による影響も



豊田市における近年の不登校児童生徒数の推移

不登校の児童生徒※は、以前も年々増加していましたが、3年程前から特に増加し、昨年度には令和2年度の約2倍、1,200人を超えました。

コロナ禍を経て、大人も子どもも生活様式が多様になり、また「不登校は問題行動ではない」という近年の法規定もあり、様々なかたちの学びや人との関わり方が、広く許容されるようになったことも要因として考えられます。

※1年間に30日以上欠席のある児童生徒をいう



子どもたちの声

「みんなと一緒に」っていうのが苦しくて…。教室に行くのは、みんなの目が気になるけど、別室で少人数なら過ごせるよ。

今の状況を何とかしたくて、何かやりたい。でも、何ができるかわからない。

本当はみんなとバレーとかバスケとか、一緒に遊んだり、運動したりしたいな…。

大切なのは、人との関わりを持ち続けること

多様な支援で、全ての子どもに寄り添う

不登校の児童生徒に対し、学校に行くことを正解として接するのは適切ではありません。子どもたちはそれぞれに異なる理由、気持ちを抱えています。何より大切なのは、大人へと成長する中で人や社会との関わりを持ち続けることなのです。

豊田市には、誰にも相談できず一人で悩んでしまうことがないよう、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー、心の相談員など、様々な境遇の子どもに寄り添う支援者がいます。そして、「自分はここにいていいんだ」と感じる居場所として、学校の内外に「はあとラウンジ」があります。どこにいる、どんな状況の子どもでも、ほっとできる支援が用意されています。



豊田市における主な支援体制

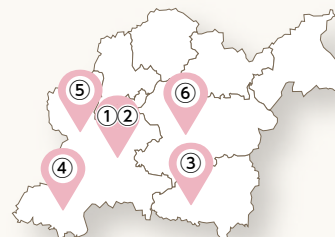
ほっとできる居場所

「はあとラウンジ」とは



校内はあとラウンジ

教室に入りづらい子、学校に行きづらい子が過ごす場所。「自分はここにいてもいい」「あの子もここにいていい」をキーワードに、自分にとって必要な学びをします。自分で決めた目標に向かって取り組む姿を、心の相談員やスタッフが、温かく寄り添い見守ります。



パルクはあとラウンジ

学校に行きづらい子が、自分で学習を進めたり、スポーツや屋内外で体験活動をしたりします。「①ふれあい」「②ひだまり」「③しもやま」「④なんぶ」「⑤ほみ」「⑥あすけ」の6か所があります。



心の相談員
てらだ たつこ
寺田 達子さん

「いつでもおいで」

校内はあとラウンジ(以降、はあとラウンジ)に、元気のない子がやってきました。一緒にゆったり過ごしたあと、教室に戻ると言いました。「また、来ていい?」「いいよ、いつでもおいで」…。中には、「学校には来たくないけど、この学校を卒業しないといけないから」と言って、はあとラウンジには頑張って来る子もいます。はあとラウンジは、友達と一緒に学ぶ教室とは違い、自分なりの学びができる多様性のある教室だと思っています。こうした居場所があることを皆さんにも知ってほしいです。

